

(26) 八柱神社 (やはしらじんじゃ)

住所：三重県伊賀市奥鹿野 1104

TEL：0595-52-0153

参拝日：2013年12月4日、2014年10月4日

主祭神： 五男三女神

祭 神： 健速須佐之男命、大山祇命、市杵島比賣命、火之迦具土命



改修中の鳥居



参道



鳥居と手水舎

山の中腹にある八柱神社の参道は長く続き、最初の階段を上り、明神造りの石の鳥居をくぐるとホソバタブやスギ、ヒノキなどの木々の並ぶ長い参道があり、左側には小川が流れている。第二の石の鳥居の手前に手水舎があり、階段を上るとスギの巨木が数本みえる。拝殿のわきには巨大な岩があり、「あおやま風土記」によると太古は社殿を設けず、この大岩を磐座として尊崇していたそうで、今でも里の人たちは、参拝の後この巨岩を拝むそうである。狛犬は本殿と拝殿の間にあり、通常と違って阿形の狛犬が左にあり、吽形が右に位置していた。2014年10月4日の参拝日は本殿の内側が地元の氏子の大工さんにより修理が行われていた。この神社は伊勢神宮の系列で20年に一度改築するそうである。本殿は枕木が6本、内削りの千木がのった神明造りであるが、棟持柱をはじめ社屋はコンクリで造られていた。これは20年前にコンクリ造りにしたそうである。本殿の内側は木の壁で造られており、改築中で本殿の内側の一部を見ることができた。御神体は前の拝殿に一時的に安置されており、11月1日に御神体が本殿にお移りになる式典があるそうである。お移りの時は御神体は幕で囲まれるため、氏子の方たちも御神体は見ることができないそうである。

境内神社の活郷社には慶長之志士16柱や太平洋戦争の英霊3柱が奉祀されている。

例祭は11月3日でその他恒例祭が27回行われる。

宝物として元禄-天保在銘の棟札十数枚がある。なお、「三重県神社誌」によると元禄14年の札面に「1536年の冬の夜、盗賊が本殿を壊し、鰐口・宝鏡・神具などを盗み出したあと放火して去る。よって氏子ら協議の末、1537年3月本殿を新築し、社頭司久昌官坊了玄比丘によって遷宮を成した」と記録されているそうである。



拝殿と巨大な磐座

参道や社叢にはホソバタブ、コシアブラ、タカノツメ、スギ、モミジ、ヤブツバキ、サカキ、ネズミモチ、マンリョウ、タブノキ、スタジイ、シュロ、チャノキ、シロダモ、ホオノキ、アカガシなど豊かな木々に囲まれており、本殿脇の山はスギが植林されていた。



本殿